

令和2年度福井工業大学 卒業生 在職状況調査
およびアンケート調査に関する報告書

令和2年12月

キャリアセンター 就職支援課

【調査の趣旨】

学校等の無料職業紹介事業関係業務取扱要領等により、職業紹介の実績等に関する情報提供が必要な事項のうち、離職状況の調査を本学卒業生の就職先企業を対象として実施した。あわせて卒業生に関するアンケート調査を実施した。

【調査の概要】

調査対象：平成 28(2016)年度および令和元(2019)年度卒業生のうち企業就職者(872 名)

調査時期：令和 2 年 10 月 1 日～23 日

調査方法：卒業生の就職先企業（587 社）へ郵送、FAX またはメールにて回答

回答件数：在職状況調査 412 社（回答率 70.2%）、640 名（73.4%）

（※明確な在職状況がわからないものは無回答として集計）

アンケート調査 331 社（回答率 56.4%）

【調査結果】

1. 在職状況調査

[1] 6ヶ月以内離職率

在職状況および離職者については離職時期を尋ね、離職時期を基に 6ヶ月以内の離職率を集計した。令和元(2019)年度卒業生の 6ヶ月以内離職率は 4.1%であった。昨年度の調査とあわせ、年度別では平成 27(2015)年度：1.4%、平成 28(2016)年度：4.6%、平成 29(2017)年度：4.5%、平成 30(2018)年度：2.7%、令和元(2019)年度：4.1%と推移している。

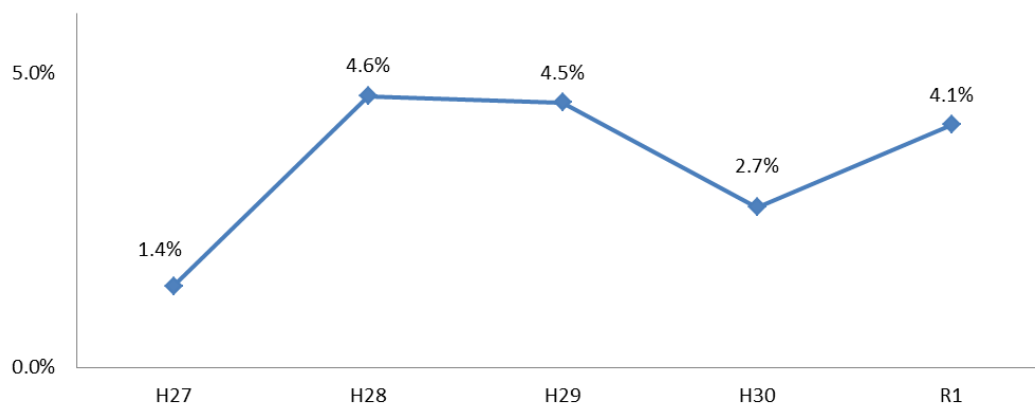


図 1. 6ヶ月以内離職率の推移

学科別での 6ヶ月以内離職率では、学科により 9.4%の差が見られた。

表 1. 6ヶ月以内離職率 (学科別)

	E	M	A	N	F	K	D	S
R1年度卒	0.0%	0.0%	8.9%	0.0%	0.0%	7.6%	9.4%	4.7%
H30年度卒	2.1%	3.2%	2.1%	4.9%	2.3%	5.0%	7.5%	3.3%

[2] 3年以内離職率

平成28(2016)年度卒本学卒業生の3年以内離職率は29.2%（前年度比6.2%増）であった。厚生労働省が取りまとめた「新規学卒就職者の離職状況」（令和2年10月30日発表）の離職率32.8%（昨年度比0.8%増）と比較し、本学卒業生の離職率は3.6%低い結果となった。

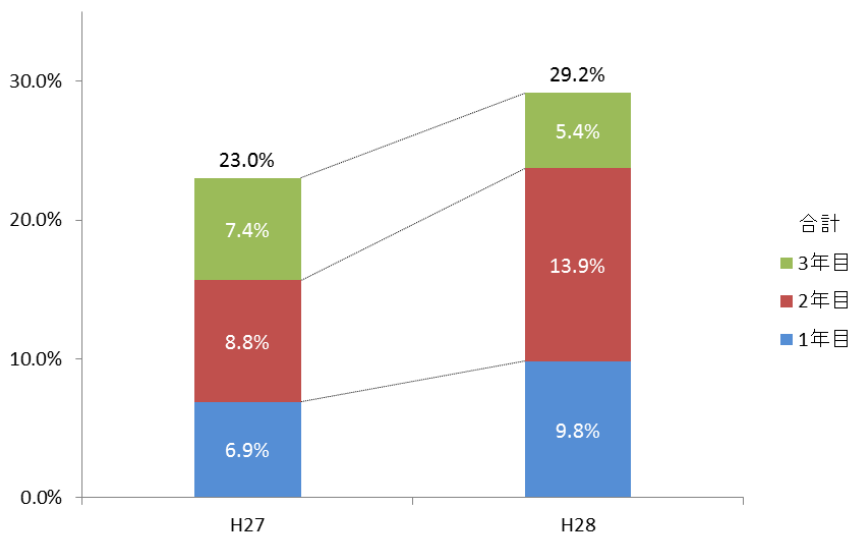


図2. 3年以内離職率（離職時期別）

学科別での3年以内離職率には大きな開きが見られた。

表2. 3年以内離職率（学科別）

	E	M	A	N	F	K	D	S
H28年度卒	27.9%	16.9%	38.6%	37.5%	32.3%	30.4%	48.1%	18.9%
H27年度卒	21.9%	23.3%	33.3%	0.0%	12.0%	25.7%	31.6%	19.4%

※H27年度卒は、Aに工学部土木環境工学科、Fに工学部環境生命科学科、Sに工学産業ビジネス工学科を含む

2. 卒業生に関するアンケート

[1] 「福井工業大学卒業生の印象」と「新卒採用者全体の印象」の比較

本学卒業生および新卒採用者全体について、仕事に対する姿勢や能力等20項目を設定し回答を求めた。また最後に本学卒業生の採用について総合的な満足度について回答を求めた。設問への回答は「十分」「概ね十分」「やや不十分」「不十分」の4段階評価とした。

それぞれの回答を比較したところ、全項目で本学卒業生の印象が高い評価を得る結果となった。中でも「誠実である」の項目では「十分(51.7%)」「概ね十分(45.8%)」合わせて97.5%となり、昨年度に続き最も高い評価を得た。一方、「語学力がある」の項目は53.5%と最も低い割合となり、こちらも昨年度と同様の結果となっている。

本学卒業生の採用について総合的な満足度は「十分(41.8%)」「概ね十分(53.3%)」合わせて95.0%といった割合であり、昨年度(93.4%)を僅かに上回る結果となった。

表3. 全21項目の結果

		福井工業大学卒業生の印象		新卒者全体の印象	
1 仕事に対する熱意・意欲がある	十分	107	32.9%	64	20.4%
	概ね十分	199	61.2%	212	67.7%
	やや不十分	17	5.2%	35	11.2%
	不十分	2	0.6%	2	0.6%
2 責任感がある	十分	96	29.6%	60	19.2%
	概ね十分	206	63.6%	209	67.0%
	やや不十分	21	6.5%	41	13.1%
	不十分	1	0.3%	2	0.6%
3 積極的で実行力がある	十分	81	25.0%	39	12.5%
	概ね十分	169	52.2%	162	51.8%
	やや不十分	71	21.9%	110	35.1%
	不十分	3	0.9%	2	0.6%
4 誠実である	十分	168	51.7%	98	31.4%
	概ね十分	149	45.8%	199	63.8%
	やや不十分	8	2.5%	14	4.5%
	不十分	0	0.0%	1	0.3%
5 コミュニケーション能力がある	十分	84	25.8%	42	13.5%
	概ね十分	178	54.8%	195	62.5%
	やや不十分	58	17.8%	72	23.1%
	不十分	5	1.5%	3	1.0%
6 表現力が豊かである	十分	41	12.6%	26	8.3%
	概ね十分	175	53.8%	166	53.0%
	やや不十分	101	31.1%	118	37.7%
	不十分	8	2.5%	3	1.0%
7 プレゼンテーション能力がある	十分	27	8.3%	20	6.5%
	概ね十分	163	50.3%	152	49.0%
	やや不十分	128	39.5%	134	43.2%
	不十分	6	1.9%	4	1.3%
8 協調性・チームで仕事をする能力がある	十分	96	29.5%	57	18.2%
	概ね十分	198	60.9%	216	69.0%
	やや不十分	28	8.6%	38	12.1%
	不十分	3	0.9%	2	0.6%
9 リーダーシップがある	十分	37	11.4%	14	4.5%
	概ね十分	160	49.2%	130	41.5%
	やや不十分	118	36.3%	162	51.8%
	不十分	10	3.1%	7	2.2%
10 一般知識・教養がある	十分	48	14.8%	31	9.9%
	概ね十分	222	68.5%	225	72.1%
	やや不十分	53	16.4%	54	17.3%
	不十分	1	0.3%	2	0.6%
11 創造性・企画力がある	十分	22	6.8%	14	4.5%
	概ね十分	171	52.9%	150	48.2%
	やや不十分	124	38.4%	142	45.7%
	不十分	6	1.9%	5	1.6%
12 問題解決力がある	十分	33	10.2%	18	5.8%
	概ね十分	197	61.2%	167	54.2%
	やや不十分	88	27.3%	120	39.0%
	不十分	4	1.2%	3	1.0%
13 課題発見力がある	十分	38	11.8%	21	6.8%
	概ね十分	188	58.2%	173	55.8%
	やや不十分	93	28.8%	114	36.8%
	不十分	4	1.2%	2	0.6%
14 専門分野の基礎知識・技術がある	十分	71	22.1%	27	8.8%
	概ね十分	173	53.9%	182	59.1%
	やや不十分	73	22.7%	91	29.5%
	不十分	4	1.2%	8	2.6%
15 専門分野の応用知識・技術がある	十分	38	11.9%	19	6.2%
	概ね十分	170	53.1%	152	49.5%
	やや不十分	104	32.5%	124	40.4%
	不十分	8	2.5%	12	3.9%

		福井工業大学卒業生の印象		新卒者全体の印象	
16 向上心をもって取り組む姿勢がある	十分	108	33.2%	65	20.9%
	概ね十分	187	57.5%	198	63.7%
	やや不十分	26	8.0%	46	14.8%
	不十分	4	1.2%	2	0.6%
17 ストレスコントロール力がある	十分	57	17.6%	30	9.6%
	概ね十分	222	68.5%	193	61.9%
	やや不十分	44	13.6%	85	27.2%
	不十分	1	0.3%	4	1.3%
18 マナーが良好である	十分	104	32.1%	67	21.5%
	概ね十分	190	58.6%	201	64.4%
	やや不十分	27	8.3%	42	13.5%
	不十分	3	0.9%	2	0.6%
19 語学力がある	十分	23	7.2%	14	4.6%
	概ね十分	147	46.2%	149	48.5%
	やや不十分	129	40.6%	130	42.3%
	不十分	19	6.0%	14	4.6%
20 倫理観がある	十分	73	22.5%	51	16.5%
	概ね十分	210	64.8%	217	70.0%
	やや不十分	40	12.3%	41	13.2%
	不十分	1	0.3%	1	0.3%
21 総合的に判断して、福井工業大学卒業生の採用に満足している	十分	135	41.8%		
	概ね十分	172	53.3%		
	やや不十分	14	4.3%		
	不十分	2	0.6%		

[2] 設問1の項目のうち企業が重要とする項目

設問1で設定した項目について、企業が重要であると考える姿勢・能力について1~5位まで順位付けて回答を求めた。

集計の結果「仕事に対する熱意・意欲がある」が最も高く、続いて「コミュニケーション能力がある」「協調性・チームで仕事をする能力がある」が上位項目となった。

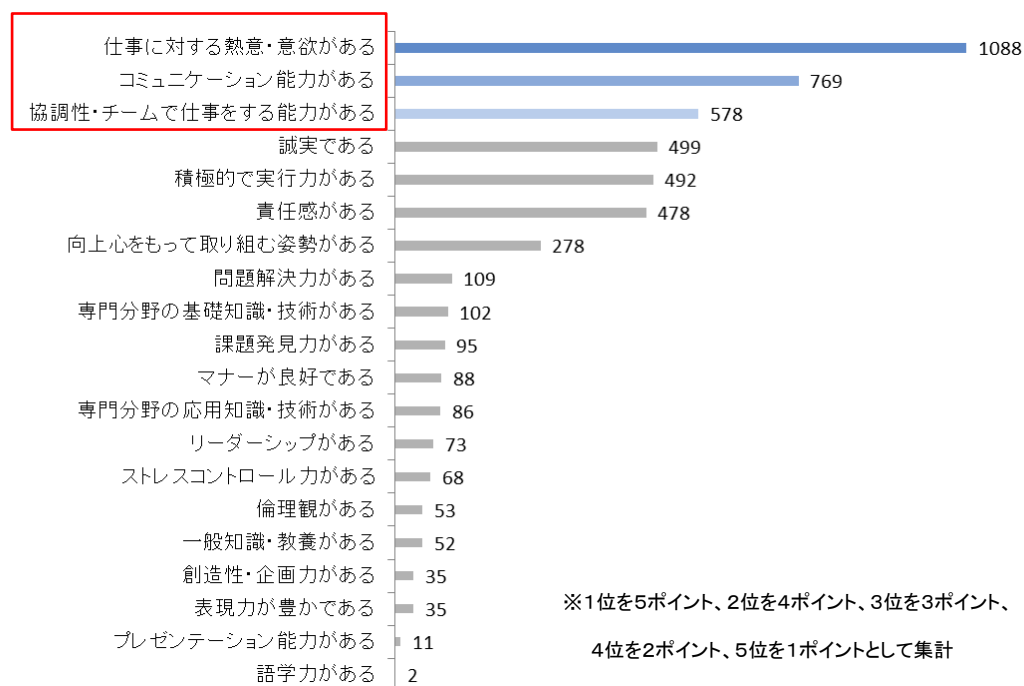


図3. 設問1のうち、企業における重要度

また、その他に重要と思われる項目については記述式での回答を求めた。

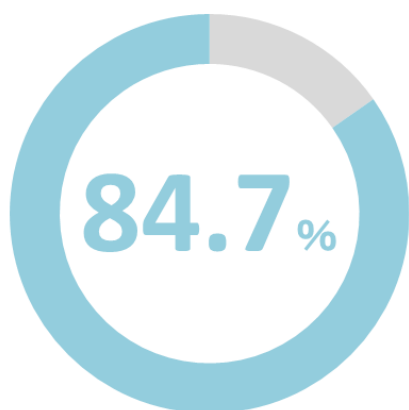
多くは、「プラス思考・夢を持って仕事をする力」、「発想力・探究心」、「素直さ・傾聴力」といった社会人基礎力と呼ばれる3つの能力「前に踏み出す力（アクション）」・「考え抜く力（シンキング）」・「チームで働く力（チームワーク）」につながる回答が得られた。

一部、その他として「地方（田舎）生活への対応」などの回答があった。

[3] 語学力（英語）について

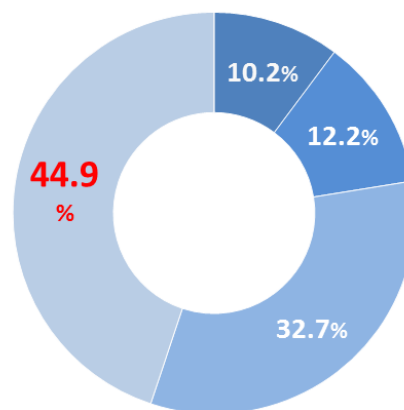
採用時、語学力（英語）を重視するか、また重視する場合に求めるレベルについても回答を求めた。

「重視しない」との回答が84.7%と高い割合になった。「重視する」と回答した企業が求めるレベルは、「通常会話での最低限のコミュニケーションができる」が44.9%と最も多い結果となった。



■ 重視する ■ 重視しない

図4. 語学力（英語）を重視するか



■ 十分なコミュニケーションができる
■ どんな状況でも適切なコミュニケーションができる
■ 日常生活のニーズを充たし、限定された範囲での業務上のコミュニケーションができる
■ 通常会話で最低限のコミュニケーションができる

図5. 求めるレベル

[4] 採用時、重視する項目

各企業が採用時、重視する項目について重要度を1~5位まで順位付けして回答を求めた。「主体性」が最も高く、続いて「チームワーク・創造性」「実行力」が上位項目となり、いずれも昨年度の調査と同様の結果であった。

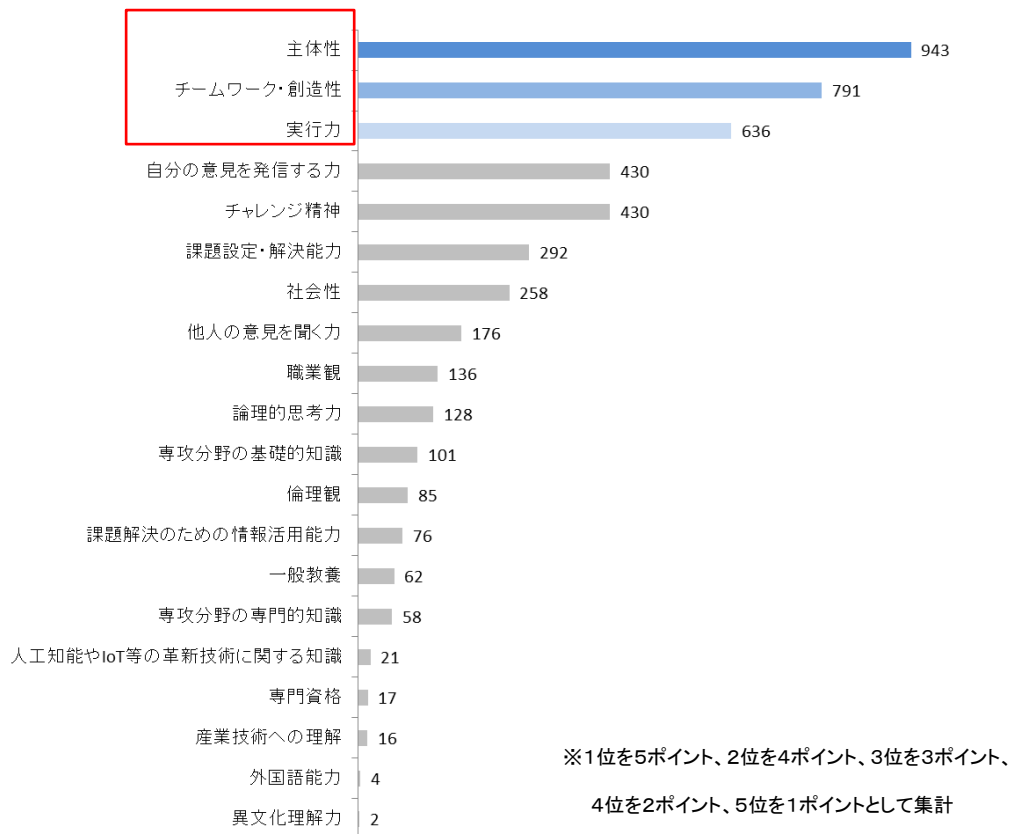


図6. 企業が、採用時に重視する項目

[5] その他

前述までの設問に加えて、その他、本学卒業生についての気づき、本学への要望を記述式にて回答を求めた。

最も多い内容は、卒業生の印象についての記述が38.9%となり、続いて求人・採用についての記述が32.6%との結果であった。

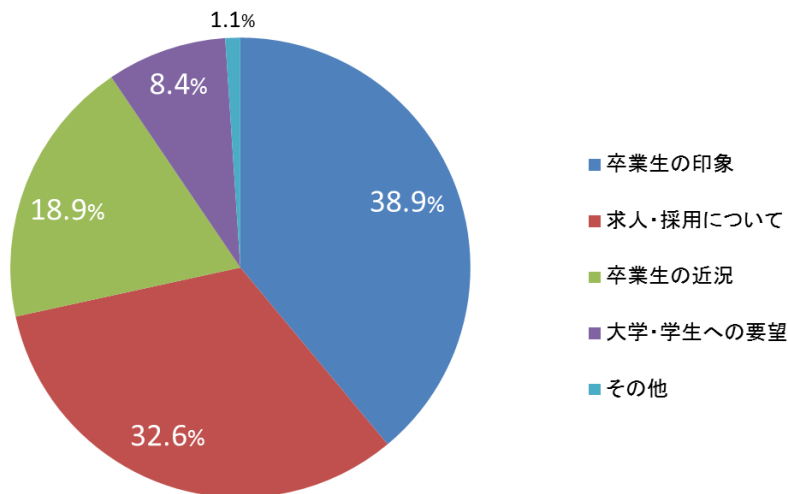


図7. その他、卒業生について、本学への要望等

【所見】

本調査の回答率 73.4%であり、令和元(2019)年度の調査（回答率 71.2%）同様に多くの企業から回答をいただいた。このことは、ご協力頂いた各企業と本学との信頼関係があってのことであり、引き続き、キャリアセンターと各企業との関係を築いていきたい。

在職状況調査により明らかとなった離職率については、単年度のみ状況把握ではなく経年比較できるデータを蓄積し、分析・検証を行っていきたい。今後の分析・検証を通じ、定着率向上に向けての取り組みの検討につなげたい。

アンケート調査により、企業が学生（大学）に求める力として挙げられる項目には変動がなかった。社会情勢の変化による企業における採用活動や求人の動向には、採用数や質の変化はあるものの、求められる資質に大きな変化はないと考えられる。

本学の学生は、企業が最も重要と考えている「仕事に対する熱意・意欲がある」において高い評価を得ている。さらには「誠実さ」においても高い評価を得ていることから、入社後の仕事への取組みに懸念はない。ただし、上位項目の一つ「コミュニケーション能力」は、高評価が約 8 割に留まっており、また「表現力」や「プレゼンテーション能力」の評価は必ずしも高くはない。このことから社会が求めるコミュニケーション全般において、さらに向上が必要であると考えられる。

本調査の結果を各学部学科へ共有し、本学におけるキャリア教育を中心とした教育の質向上、延いては本学卒業生が社会から求められる人材として輩出されるよう、さらなる改善に取り組むたい。

以上